

平成 24 年 7 月 25 日

金融商品専門委員会
ディスカッション・ポイント

- 金融商品専門委員会は、IASB/FASB における審議の動向を注視するとともに、適時にこれをフォローする方向で検討を進めている。
- 第 94 回の金融商品専門委員会（7 月 10 日（火））では、IASB/FASB における分類及び測定に関する最近の審議のうち、主に次の事項の概要について紹介した上で、専門委員からご意見やご質問を頂戴した。
 - 金融資産の事業モデル（償却原価）
 - 金融資産の分類変更
 - FVOCI 区分に分類され得る負債性金融商品の範囲
 - 公正価値オプション
 - FASB の検討状況（ASU 案「流動性リスクと金利リスクの開示」を含む）
- 本日の第 248 回企業会計基準委員会では、上記のうち、特に関心が高いと考えられる金融資産の分類変更、FASB の検討状況について、以下の事項を中心にご意見をいただきたい。

（ディスカッション・ポイント）

金融資産の分類変更（審議事項（3）-2）

- 事業モデルの変更時に分類変更を要求すべきか、容認すべきか、又は禁止すべきか、いずれが適切と考えられるか。
- 分類変更日は、事業モデルを変更した期の期末と翌期首のいずれが適切と考えられるか。
- 分類変更を要求する事業モデルの変更とは、どのような場合が考えられるか。

FASB の検討状況（審議事項（3）-3 及び審議事項（3）-4）

- FASB の暫定決定及び ASU 案について、どのように考えるか。

以 上